

日本を、取り戻す。

**自民党****党員を募集中です！詳しくは係員まで！****自由民主党衆議院議員【埼玉 3 区（越谷市・草加市）】****～集団的自衛権行使の一部容認について～****最近の政治ピック～政治家のヤジについて～**

※きかわだひとし後援会 入会のご案内など

**きかわだステーション****第 32 号**きかわだひとしFBはこちら！友達募集中！↑↑↑  
衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591

地域の皆様と共に！

自立と誇りある  
日本をつくりまします**～集団的自衛権行使の一部容認について～**

自由民主党衆議院議員の黄川田仁志です。

報道されています通り、安倍内閣では、7月1日の臨時閣議において、集団的自衛権の行使を一部容認することを決定しました。

このことについて、毎朝の駅前での挨拶活動や、様々な会合で、多くの意見をいただいております。中には、「あなたは戦争したいのか？」や「日本の若者を戦場に送り出すことに平気なのか？」というように、今回の解釈変更による影響を大変心配しておられる方もいらっしゃいます。

しかし、心配はいりません。このことで、日本が自ら戦争に入っていくことはありません。

集団的自衛権の一部を容認する主な目的は、東アジアのパワーバランスを保つことです。

現在、日本周辺の安全保障をめぐる環境は、決して楽観視できるものではありません。前号でも掲載しましたが、中国の領土・領海の拡張政策はもちろん、北朝鮮のミサイル、尖閣問題等、日本の周りには問題が山積しています。特に、中国は、軍事費が年 10%以上の伸びを見せている他、実際の軍事予算は公表額の 2 倍もあるとの推計もあります。現在、日本の安全保障体制の基軸である、日本の自衛隊と米国軍の能力は、中国と比べて優位に立っています。しかし、このまま中国が軍備を増強すれば、5年後には、その能力を追い抜かれる可能性があります。そのような事態になると、東アジアのパワーバランスは崩れ、日本の平和を維持できなくなる恐れがあります。

私たち自民党は、責任政党として、国民の皆様の生命と財産、そして国土を守るため、米国をはじめ、国際社会と協力して平和を確保していく必要があると判断しました。そして、日本の存立を全うし、国民を守るための自衛措置に限り、集団的自衛権の一部容認を承認しました。

今回の措置を受けて、「安倍総理は、今すぐにでも戦争を始めるつもりだ」と言うような極端な意見を述べている方もいらっしゃいますが、決してそのようなことはありません。憲法 9 条に基づく平和主義は貫いてまいります。よって、湾岸戦争やイラク戦争のような戦争に、自衛隊が参加することは、これからもありません。

私は、自民党の憲法改正推進本部の幹事を務めており、様々な場面で、憲法改正についてお話しています。「徴兵制を採用するための準備をしている」との声も一部聞かれますが、現行憲法の下、徴兵制を導入することはできませんし、自民党が平成 24 年に発表しました「新憲法草案」においても、この点はしっかり継承されています。日本の若者が戦地に送られるような事態は決して起こりません。

また、自衛隊は、閣議決定だけで行動することはできません。閣議決定に基づき、国会に関連する法案が提出され、与野党間で十分に審議を行い、可決されて初めて、今回の集団的自衛権の一部容認に伴う行動が可能となります。決して、安倍総理 1 人の横暴ではありません。今後は、野党の意見も真摯に受け止め、国民を守るため、慎重且つ丁寧に審議を重ねて参ります。

⇒裏面につづく

今回の一部容認に際し、デモや一部マスコミの報道で、日本が今すぐでも戦争に巻き込まれるような煽りがあることは、とても残念でなりません。一方で、政治に対する国民の皆様の信頼が不足していることを痛感し、国会議員の1人として、自省しております。

私は、日本が再び戦争する国になれば良いとは一切思っておりません。日本の若者が強制的に戦地に送られるようなことは、断じて阻止します。しかし、万が一の事態に備え、でき得る限りの準備をすることは、国会議員として当然の責任であると考えます。東アジア情勢はもちろん、米軍再編や他の国との連携も含め、国際的な安全保障体制は日々変化しています。その変化に対応せず、日本一国だけで、万全な安全保障体制を築くことは、もはや不可能です。そのような世界の流れを捉え、日本の安全保障体制を構築することが、政府与党の責任です。

今後も、様々な場面で、皆様のご意見を伺い、日本の安全保障について、考え、実行して参りますので、引き続き、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成26年7月吉日 自由民主党衆議院議員

黄川田仁志

## 最近の政治のトピック ～政治家のヤジについて～

最近、政治の話題で注目されているのが、議場における「政治家のヤジ」についてです。

東京都議会で、女性議員が少子化対策についての質疑を行ったところ、男性議員から、「自分が早く結婚したらいいじゃないか」や「産めないのか」といったヤジが飛び、大問題になったことは、皆様もご存じかと思います。

また、国会においても、自民党の議員が委員会の場で、人口減少に係る対策について質問した女性議員に対し、「早く結婚して子どもを産まないでダメだぞ」と発言したことが判明しました。

私は、これら女性議員に対する結婚や出産に係るヤジは、断じて許されるものではなく、政治家としての品位を欠くものであると思います。ましてや、自民党では、女性の社会進出をこれまで以上に促しています。自民党所属の全ての政治家は、このようなヤジを認めるべきではありません。

結婚や出産は、女性の人生にとって、とても大きな出来事であり、既婚者にしろ、単身者にしろ、様々な背景や事情の下で生活していることを、政治家はしっかり認識しなければなりません。

女性の社会進出や子育て支援策、少子化対策を話し合っている政治の場に、極端に女性が少ないことも問題です。

列国議会同盟の報告書によると、日本は、189か国中、女性の国会議員の割合が8%で、先進国中最低、世界平均を下回る127位だったそうです。地方議会になると、さらに女性議員の割合が少なくなります。このような状況が、男性本位の無神経なヤジにつながっていることは間違いありません。また、女性議員の皆さんも、このような不躰な男性議員に対しては、泣き寝入りするのではなく、議場ではっきり「ノー」を突き付けるべきでしょう。

ちなみに、安倍政権では、2020年までに、女性の国会議員の割合を30%まで上げようとしています。

～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

## きかわだひとし後援会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。**入会金・年会費は不要**です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



一緒に「自立」と「誇り」ある日本を創ろう！ **きかわだひとし後援会**

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 2-8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : [info@kikawadahitoshi.jp](mailto:info@kikawadahitoshi.jp) HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

**ボランティア大歓迎**

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集！

**カンパ募集しております！**

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大にご協力を！

**きかわだひとしとは？**…自民党衆議院議員。東京理科大学卒、米川-ランド大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道、空手、野球、落語。現在、外務、法務、震災復興特別各委員会所属。自民党青年局長。